

TAKE FREE

ご自由にお持ち下さい

社会福祉法人 恩賜財団 済生会 済生会新潟第二病院

FEBRUARY
2019

2

なでしこチアーズ

Cheers!



特集 *Monthly Topics*

頑張る人達とあなたへ声援を届ける医療と健康のフリーマガジン

スタッフリレーコラム

医芳人 I H O J I N



脂質異常症
の方に

レシビ
今月のわんふわーど

里芋のトリュフ

平成30年度 アンケート結果報告〈入院〉

〈レポート〉ミュージック・イン・済生会／災害訓練／がん患者サロン

〈Close up〉平成30年度 会長賞・稲垣賞

〈登録医訪問〉ながたクリニック(中央区)

〈職場訪問〉がん相談支援室

2019年4月1日より病院名が

「済生会新潟病院」に変わります。

病気と共に生きる患者さんの身心を支えたい。
クロールン病セミナー
開催にかける想い

さいせいかいにいがた



特集

クローン病セミナー

チーム

毎日の食事から
ライフイベントまで
幅広い悩みに寄り添う

若年層を中心に罹患者が増えていると言われる「クローン病」。この病気に関するセミナーを定期的に開催している済生会新潟第二病院のチームメンバーにインタビューを行いました。

◎聞き手／ライター 本望 典子

栄養科
櫻井 健一
KENICHI
SAKURAI

B4病棟
看護師

安立 華子
HANAKO
ADACHI

B4病棟
看護師

青木 優子
YUKO
AOKI

B4病棟
看護師

飯田 百合絵
YURIE
IIDA

薬剤師

和田 朋海
TOMOMI
WADA

クローン病について

1932年に米国のクローン医師によって発見された病で、国内に36,000人以上の罹患者がいると言われています（平成24年調査時）。若年層に多く、発症すると一生治らないと言われている慢性疾患。原因ははっきりと分かっていませんが、欧米先進国での患者数が圧倒的に多いため、食生活の欧米化が関係しているとも言われています。

腹痛・下痢・発熱などが続いたら…まずは受診を

クローン病とは
どんな病気ですか？

飯田 口から肛門までの消化管（主に大腸や小腸）に炎症や腫瘍などができる難治性の慢性疾患です。10～20代の若年層に多く発症する病気で、腹痛や下痢、発熱、体重減少などの症状がみられます。

安立 緩解（かんげい）（※）と再燃とを繰り返す疾患で、長く付き合っていかなければならない病気。消化管以外にもさまざまな合併症を伴うため、全身の症状を見ていく必要があります。

※緩解とは病気の症状が一時的に軽減、またはほぼ消失した状態を言います。

クローン病の治療法、罹患後の注意点などを教えてください

青木 主な治療としては「薬物療法」「栄養療法」など。腸の狭窄や合併症などによって手術が必要になってくる場合もあります。いずれにしても完治することはないので、再燃しないように疾患をコントロールしていくことが大切です。

病気発見のケースとして多いのは、下痢や血便が続いて内視鏡検査の結果、潰瘍が見つかるという方、また健康診断などで病院から指摘される方もいます。

和田 クローン病になるはつきりとした原因はまだ分かっていませんが、平成24年度の調査では、新潟県内に500人を超える罹患者がいるという結果が出ています。

病気の不安を解消しながら毎日の食事を楽しんで

クローン病セミナーはいつからどんな目的で開催されていますか？

安立 平成26年頃から年2回のペースで開催。

対象となる若い患者さんやご家族の皆さんが参加しやすいよう、開催時期は春休み（3月）と夏休み（8月）をめどにしています。当院に通院されている方以外でも、誰でも自由に参加できるセミナーです。

青木 同じ疾患を抱える患者さんとの交流、また医療者との交流を通して日々の生活に役立ててもらうことを目的としています。病気に関する疑問や不安などを解決し、精神的な支えにさせていただければと思っています。



調理実習の様子

セミナーの様子

これまでどのような取り組みをされてきましたか？

飯田 当院消化器内科の本間先生や新潟大学病院の先生から疾患のこと、食事・生活に関する講義をいただきました。

また患者さんやご家族さんとの情報交換会も行っています。

櫻井 栄養に関する疑問を解決する一助になればと「調理実習」を行いました（調理例はP5参照）。

ちなみに日々の食事のポイント① **低残渣食** ② **低脂肪食** ③ **低繊維食** ④ **低乳糖食** ⑤ **低FODMAP食** ⑥ **低果糖食** ⑦ **低果糖食** ⑧ **低果糖食** ⑨ **低果糖食** ⑩ **低果糖食** ⑪ **低果糖食** ⑫ **低果糖食** ⑬ **低果糖食** ⑭ **低果糖食** ⑮ **低果糖食** ⑯ **低果糖食** ⑰ **低果糖食** ⑱ **低果糖食** ⑲ **低果糖食** ⑳ **低果糖食** ㉑ **低果糖食** ㉒ **低果糖食** ㉓ **低果糖食** ㉔ **低果糖食** ㉕ **低果糖食** ㉖ **低果糖食** ㉗ **低果糖食** ㉘ **低果糖食** ㉙ **低果糖食** ㉚ **低果糖食** ㉛ **低果糖食** ㉜ **低果糖食** ㉝ **低果糖食** ㉞ **低果糖食** ㉟ **低果糖食** ㊱ **低果糖食** ㊲ **低果糖食** ㊳ **低果糖食** ㊴ **低果糖食** ㊵ **低果糖食** ㊶ **低果糖食** ㊷ **低果糖食** ㊸ **低果糖食** ㊹ **低果糖食** ㊺ **低果糖食** ㊻ **低果糖食** ㊼ **低果糖食** ㊽ **低果糖食** ㊾ **低果糖食** ㊿ **低果糖食**

皆さまそれぞれの立場で大切にしていることは？

和田 私は薬剤師として患者さんへ薬の説明や副作用について、また症状が改善しない場合の薬の相談などに応じています。最近では症

状や薬の疑問を、スマホで調べて偏った知識を得てしまうケースも見受けられるので、そういった場合は参考になる正しいサイトをアドバイスするようにしています。

症状によって処方される薬は異なりますが、服薬は毎日の習慣です。患者さん一人ひとりの生活に服薬を組み込みながら、飲み忘れないようサポートすることが最大の務めです。

櫻井 栄養士としては食事制限の指導がメインとなりますが「アレはダメ」「コレもダメ」が続けば当然ストレスにつながります。緩解期であれば、好きなものを少し食べてみる…その結果でまた次の食事を考えてみるのも良いかと。若い人の食事は、ご家族の協力も必要です。食事は本来楽しいもの。みんなで前向きに、栄養療法に取り組んでいくきっかけになるよう心がけています。

青木 10代～20代は、進学・就職・結婚など大きなライフイベントと関わる年代です。ひとりで病気の不安を抱えて諦めるのではなく、ちょっとした工夫や周囲の理解で乗り越えられることを知って欲しい。私たち看護師は、皆さんが明るい気持ちで毎日を過ごせるよう、暮らし全般に配慮して患者さんの心身を支えていきたい考えです。

クローン病セミナー 開催のお知らせ

要事前申込み

●開催日時

3月31日(日) 15～17時

●会場

クロスバル新潟(5階 調理実習室)

新潟市中央区礎町通3-2086

TEL.025 (224) 2088

〈アクセス〉 JR/新潟駅万代口より徒歩
20分程度、バス/「礎町」または「本町」下
車徒歩3～5分

●内容

レトルト食品や簡単な捕食について
／調理実習(短時間)／試食会(情
報交換)

●参加費 500円

●参加方法

事前に当院 地域医療連携室にお
電話で参加者名と参加人数をお知
らせ下さい。

●問い合わせ先

当院 地域医療連携室

TEL.025 (233) 6182 (直通)

(平日8:30～17:00 ※祝日を除く)



まずはお気軽に
ご参加ください

大切なイベントと
人生を力強く歩み続ける
きっかけに

セミナー開催のチームメンバーに
なられたきっかけや経緯は？

飯田 私と安立はセミナー回目からのメンバーです。病気のことを相談できず、ひとりで抱えてしまっている患者さんのストレスを軽減するためには？ そのために自分に何ができるか？ と考えたときに「せめて話を聞くこと」ではないかと志望しました。

青木 もともと慢性疾患に興味があり外来で患者さんと接していましたが、それぞれの年代や性別により全く異なる生活環境の中で、病気と共に生きるこの大変さを実感しました。患者さんの一大イベントを、そして人生そのものを、支える手助けになればという想いで今に至ります。

和田 入院中は管理された食事が

提供されますし、服薬指導も行えますが、退院後のケアが心配でした。年2回ではありますが、このセミナーで患者さんのライフスタイルに基づいた、適切なアドバイスができることがやりがいとなっています。自分自身ももっと知識と経験を重ねて、患者さんやご家族の笑顔の毎日をサポートしていきたいですね。

セミナーの魅力と今後の展望についてお聞かせください

安立 どなたでも気軽に参加できるセミナーです。まだ一般的にあまり知られていない「クローン病」と、長く付き合っていくための、より良いヒントが見つかる、充実した内容にしていきたいと思っています。

和田 クローン病セミナーを定期的に開催している病院は、県内では少なく、患者さんからのアンケートなどを元に、今後はより規模を拡大し、クローン病への理解が浸

透していくことが望みです。
飯田 専門家のアドバイスはもちろんのこと、同じ悩みを抱える患者さんの「生の声」が心強いメッセージになるはず。日頃の不安を解消するためにも、セミナーの和気あいあいとした楽しい雰囲気これからますます大切にしていきたいです。

患者さんや地域の皆さんへメッセージを

全員 若い患者さんは、毎日忙しいものです。疑問をインターネットで調べて解決するパターンが多いのも充分理解できますが「顔を見て話すから分かること」「あんなりの解決方法が他にもある」ということを、ぜひこのセミナーで知っていただきたい。積極的に手を挙げなくてもいいのです。その場にいるだけで得られる「安心感」があります。一人じゃない、仲間がいるということの素晴らしさは、これからの人生を力強く歩んでいく励みになると信じています。

「友人や職場でクローン病の方がいる」「接し方を知りたい」という方も大歓迎です。皆さん、次回3月のセミナーでぜひお会いしましょう！お待ちしております。



Special Recipe

クローン病の方へのレシピ例①

豆乳みそ肉団子

材料(4人分)

だし汁／豆乳 …… 各 400cc
みそ …… 大さじ 2
塩 …… 小さじ 1/6
白菜 …… 大 2 枚
人参 …… 1/2 本
里芋 …… 2 個
ねぎ …… 1/2 本

〈水溶き片栗粉〉

片栗粉 …… 小さじ 2
水 …… 大さじ 4

〈鶏団子〉

鶏胸肉 …… 1 枚
玉ねぎ …… 小 1/2 個
卵(小) …… 1 個
パン粉 …… 大さじ 4
塩 …… 少々

栄養量(1人分)

エネルギー 245kcal / たんぱく質 22.6g
脂質 7.0g / 食物繊維 4.0g

作り方

- 鍋にだし汁と豆乳を入れて、火にかける。
- 白菜はざく切り、人参はいちょう切り、里芋は一口大、ねぎは斜め薄切りにする。鶏団子用の鶏肉は、皮と脂身を取り除き、一口大にする。
- フードプロセッサーに 2 の鶏肉、玉ねぎ、卵、塩を入れ攪拌し、全体が混ざったらパン粉を加え、さらに攪拌する。
- 1 が煮立ったら 2 の野菜を加えて火を通し、みそと塩で味を調える。
- 4 に鶏団子のタネをスプーンで一口サイズにすくい入れ、火を通す。
- 水溶き片栗粉を入れてとろみをつけ、お椀によそい完成。



調理実習した時のメニューは白玉も一緒に。



セミナーでは、お渡しするメニューレシピに、手書きで丁寧な説明をすることもあります。

クローン病の方へのレシピ例②

豆乳プリン

材料(1人分)

豆乳(無調整) …… 100ml
砂糖 …… 8g
ゼラチン …… 1.3g
マンゴー(缶詰) …… 50g

栄養量(1人分)

エネルギー 130kcal / たんぱく質 4.6g
脂質 3.2g / 食物繊維 1.0g

作り方

- マンゴーは1センチ角ほどにカットし、プリン用と飾り用に分けておく。
- ゼラチンは3倍量の水でふやかす。
- 鍋に豆乳と砂糖を入れて火にかけ、砂糖がとけて沸騰する寸前に火を止める。ゼラチンを加えて余熱でとろく。
- カップにマンゴーと 3 を注ぎ、冷やして固める。
- 飾り用のマンゴーをのせる。

甘いものだって
工夫次第♪



クローン病セミナーは、新潟大学医歯学総合病院の消化器内科と共催で開催し、両病院のスタッフ(医師・看護師・薬剤師・栄養士)が参加しています。

セミナーに参加される患者さんやご家族は当院、または新潟大学医歯学総合病院に受診している方が主ですが、両病院以外の方もご参加いただけます。

「病院という垣根を越えて患者さんやご家族が交流し情報交換できる」セミナーです。

次の開催は、上記の通り3月31日(日)です。詳細は後日、当院のホームページやフェイスブック、新潟日報の新聞等で開催案内をいたします。皆様のご参加をお待ちしております。

(B4病棟看護師長 石山 綾)



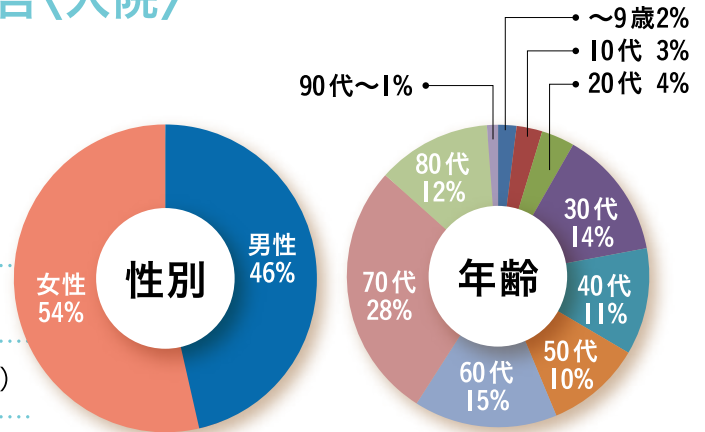
| サービス向上委員会アンケート |

平成30年度 アンケート結果報告〈入院〉

前号の外来患者さんアンケートに続き、
今回は入院患者さんの結果をご報告いたします。

実施期間：平成30年10月1日(月)～10月31日(水)

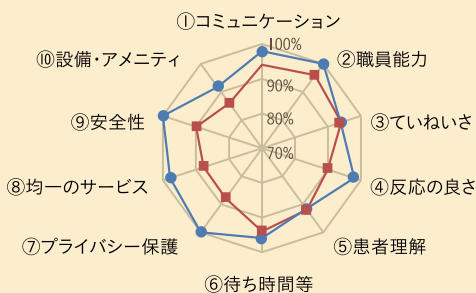
有効回答数：254件(期間中に退院された患者さんが対象)



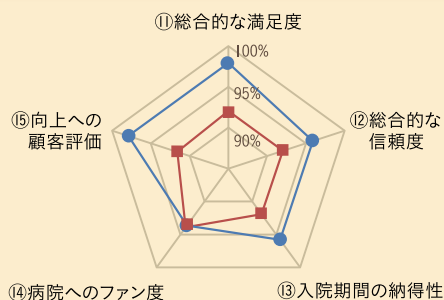
総合的な設問(満足度)

— 2017 — 2018

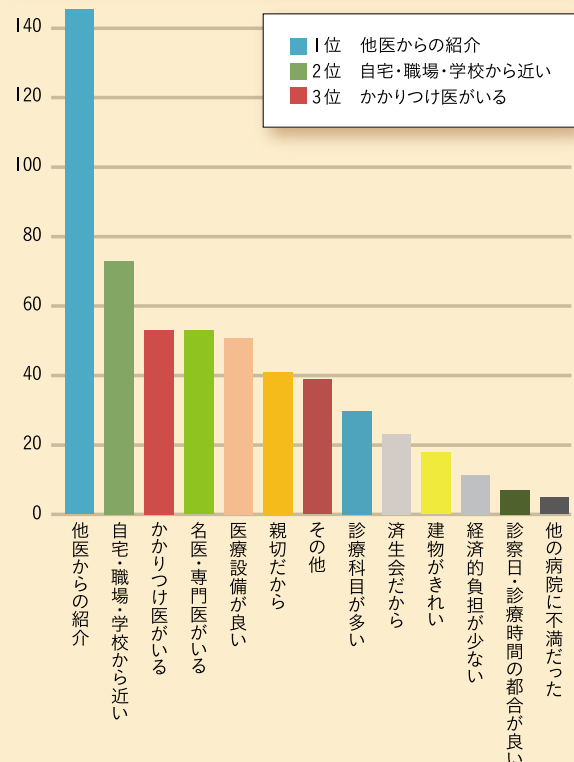
医療サービスとして重要な10の項目について



当院への総合的な満足度について



患者さんが当院を選択した理由(複数選択あり)



●お年を召した隣の患者さんに、看護師さんが何度も様子を見に来ていました。その対応を聞いていると、毎回とてもとても親切丁寧で、心を込めて接している様子が伺え、とても素晴らしいと思いました。その患者さんもおいつも感謝の言葉を述べておられ、大変だと思いますが、どうか続けて下さい。●病院食が思っていたより美味しかったです。看護師さん達も気さくで話やすく、先生も丁寧に対応して下さいました。●トイレも不潔感なく使用でき、お風呂も自分の好きな時間に利用できました。●看護師さんが親切で優しい気配りをしてくれ、市内の病院ではトップ級だと思う。●大部屋でしたが、広くて過ごしやすかった。

自由記述では、上記のようなお褒めの言葉を多々いただきました。ご協力ありがとうございました。(サービス向上委員会)



スタッフ
リレーコラム



薬剤部 薬剤師 まよいしゅうた
間宵 聖太

間宵薬剤師からバトンタッチ 今回はこの人！

Next!

見た目は可愛い。歌も素晴らしい。更に
思慮深い。ただ芸術面で独特な感性を持って
いる人。私の語彙では表現できず、残念に
思います。独創的なコラムを楽しみにし
ています。



総務課 事務員 とみなが みか
富永 美香

医 人 I H O I N

歌と祈り

私は、音楽が好きだ。どうして好きなのかはわからない。ただ私の生活の一部であることは疑いようがない。

皆さんの身の回りにも音楽はいるのではないだろうか。悲しい気分になった時、音楽はその気持ちを汲みそばにいてくれる。立ち向かわなければいけない時、音楽はその気持ちを鼓舞し背中を押してくれる。

昨年のクリスマス、私は人生で初めてミサというものに参加した。ミサではたくさんの歌を参拝者で合唱した。「こんなに歌う必要あるのかな」と訝しく思いながらも周りに合わせ歌っていた。ミサも終盤にさしかかり司祭より説教が行われた。「皆さん、歌うことは祈ることです。祈りが世界中に届くと信じて、共に歌いましょう」私は訝しく思う自分の気持ちを恥じた。それと同時に誇らしく思えた。私たちは歌を通して見たこともない誰かのために祈れるのだ。こんなに簡単な方法で、誰かを想えるのだ。

この世界は歌に溢れている。歌は祈り。祈りに溢れた世界を想像して、少しだけこの世界が優しく見えた。

REPORT

1

クラシックギターの 音色に魅了され



11月11日(日)、当院正面玄関待合
ホールにて「ミュージック・イン・済
生会」を開催しました。このイベン
トは年一度、患者さんの心のやすら
ぎを目的として実施しています。今
年度は、昨年度に引き続き「ギター
サークルドレミ」の皆様をお迎えし
て、クラシックギターによる演奏12
曲(アンコール曲含む)を披露し
ていただきました。

他国の民謡、映画のテーマソ
ング、童謡、新潟市民歌などお子様か
らお年寄りまで楽しめる曲を用意
してくださり、来場された102
名の方が、クラシックギターの音色
に魅了されました。アンコールでは



「にいがた・夢」という演者のオリジ
ナル曲で、新潟の美しい情景を描
き、新潟にゆかりのある方々へ暖か
い春が訪れることを願う心打たれ
る曲でした。

「ギターサークルドレミ」の皆様、
本当に素晴らしい演奏をありがと
うございました。

(行事委員会(院内コンサート部会)

事務局 星野)



2019年4月1日より、病院名が
済生会新潟病院
に変わります。

これまで皆様に親しんでいた「済生会新潟第二病院」の名称を4月1日「済生会新潟病院」へ変更します。

1991年、当院は新潟市田町の旧「済生会新潟病院（2008年閉院）」に一部機能を残して、現在の地に「済生会新潟第二病院」として開院しました。この四半世紀の間に当院の医療提供体制は変化した、病院名と診療事情が解離する状況になっています。そこでこの度、新潟市内における済生会病院の創立名称「済生会新潟病院」を引き継ぎ、新たにスタートすることに致しました。

これからも新潟市西地区の基幹病院として、地域医療・救急医療に貢献し、皆様のお役に立つよう努めてまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも地域医療の充実と発展のために、職員一同全力を尽くして参りますので、よろしく願い申し上げます。



Close up



平成30年度 会長賞・稲垣賞

当院では毎年、職員の業務評価を行っており「会長賞」「稲垣賞」をもって表彰しております。

会長賞とは、模範となる行為を行った職員並びに団体を対象に表彰する制度です。他の職員の模範となる行為を行った者や、業務の改良・工夫などを考案した者に送られます。

稲垣賞は、顕著な功績のあった職員を表彰する制度で、医学の研究功労など優れた実績のあった者に送られます。

平成30年度の表彰は右記の通りです。今後も患者さんを第一に考え、より良い病院を目指します。

会長賞

B4病棟スタッフ一同



業績 超過勤務時間削減の是正処置

会長賞

チームOLS



業績 骨粗鬆症リエゾンサービスの導入と実践

会長賞

A4病棟スタッフ一同



業績 地域貢献事業『命の授業』の継続

稲垣賞

外来看護師 野口 博人



業績 慢性肝疾患患者におけるQOLとCLDQ scoreの相関性について学会報告ならびに国際論文文化

災害拠点病院として

10月13日(土)に新潟県下越地方を震源とする震度6強の地震を想定した「災害訓練」を行いました。

今回は医療福祉大学、国際メディカル専門学校、青陵大学看護学科の学生ボランティアさんの協力のもと、総勢100名が参加しての訓練となりました。

当院は「災害拠点病院」に指定されており、災害時にも適切な医療を提供する責務があります。

大規模災害が発生した際に、病院では在院患者の安全確保、新たな傷



病者を受け入れるための病院機能の維持、及びライフラインに大きな被害が生じた場合でも限られた医療機能を最大限に活用し、負傷者への医療救護活動を行うこと役割が求められます。訓練を通じて災害時の具体的な対応が各スタッフに理解され、浸透していることが重要となります。

今後も訓練を怠らず、備えてまいりたいと思います。

(防災・災害対策委員会)

参加者募集

がん患者サロンのご案内

● 次回の開催予定

2月26日(火) 13:30～15:00

● 参加対象者

がん患者さん・ご家族であれば、どなたでも参加可能です。当院受診の有無や、がんの種類は問いません。

● 会場

7階臨床実習室②

● 内容

- ①ミニ講演(約15分)
栄養士から食事のお話
- ②交流会(約75分)
参加者同士の意見交換など

● 申込み

不要(当日直接会場へお越しください)

● 照会先

B棟2階 地域連携福祉センター
がん相談支援室担当/渋川・月岡

☎025-201-2525(直通)

参加者の声より

家族や周りの人にあまり
病人扱いをされたくはない。

できるだけ普通にいたい。

はじめに地域医療連携室看護師 佐藤真衣子より「病院とかりつけ医との連携について」医療連携ノートって知っていますか?と題してミニ講演が行われました。

地域の医療機関が役割分担をし、情報共有すること、患者さんが安心して治療を受けてもらうための治療計画「地域連携パス」。そこで使用する治療計画書を新潟県では「医療連携ノート」と呼んでいます。その活用により投薬の重複を回避できるなど、病院とかりつけ医との情報共有に役立っているとのことでした。

普段なかなか聞きなれない「医療連携」について



参加者は熱心に耳を傾けていました。またリピーターの方、初参加の方、他院に通院中の方と、様々なご参加で、地域に開かれたサロンとしての必要性も再確認できました。

今後も居心地の良いサロン作りを心掛けていきたいと感じています。皆様のご参加をお待ちしています。

(がん相談支援室 月岡多恵子)

REPORT 3

がん患者さん・ご家族が集まる交流の場
がん患者サロン

11月27日(火)

A棟7階臨床実習室②



整形外科、皮膚科、リハビリテーション科 中央区 **ながたクリニック**

／おじゃまします／
医療連携のパートナー
登録医訪問



医師名 **伊藤 拓緯先生・伊藤 明子先生・増井 由紀子先生**

住所 〒950-0932 新潟市中央区長潟1205-4

電話 025-282-7010

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
8:15~11:45	●	●	●	●	●	●	—
14:30~18:00	●	●	●	—	●	—	—



右から伊藤院長、伊藤副院長、増井医師

2 017年10月に中央区長潟に開院した

ながたクリニックと申します。長潟という住所は馴染みのない方もおられるかもしれませんが。ビッグスワンのやや東側にあります。すぐお隣には大滝耳鼻科クリニックが、近くにはとくなが女性クリニック、さかのこどもクリニック、清水たろう歯科もあり、複数を受診する方には便利な場所です。

当クリニックには3名の常勤医師がおり、整形外科、皮膚科、リハビリテーション科の診療を行なっております。①正確な診断、迅速な治療、②症状緩和・病氣予防による生活の質向上、③待ち時間と医療費の削減を目指す、の3つの診療方針に則って診療を行っております。

整形外科は伊藤拓緯が担当し、整形外科全般の治療を行っています。ブロック注射などの方法を通じて痛みなどの症状を緩和させること、リハビリテーションを積極的に行うことでよりよい機能回復を目指すこと、骨



粗鬆症の予防に力を入れています。

皮膚科は伊藤明子、増井由紀子の2名の女性医師が担当しており、皮膚科全般の治療を行います。特に接触性皮膚炎診療に関しては全国屈指の治療経験があり、パッチテストを活用して皮膚炎の原因を究明します。外来小手術、CO₂レーザーや紫外線治療、保険診療の限界を補う意味での美容治療も行っています。

リハビリテーションはリハ専門医(伊藤拓緯)と理学療法士常勤4名(4月からは5名)、作業療法士常勤1名が担当しております。変形性関節症、脊椎疾患、骨折などの整形外科疾患だけでなく脳卒中、パーキンソン病その他脳神経疾患の方のリハビリテーションを行っております。病院において急性期治療を受けた患者さんの退院後の治療も積極的に行っております。病院と連携しながら質の高い診療を行って行きたいと考えております。よろしくをお願いします。

CHEERS VISIT

院内でがんばるスタッフがずらり

職場訪問

がん相談支援室

月岡 多恵子



がん相談支援室は、地域連携福祉センターの中に属しており、室長の洪川、月岡の医療ソーシャルワーカー(MSW)2名で構成されています。

がん患者さん・ご家族の相談窓口であり、医療費・ホスピスについて・各種福祉サービスの利用・ウィッグ等の相談に応じています。地域に開かれた窓口としての機能もあり、当院受診の有無に関わらず、がんに関する相談であればどなたでも相談していただけます。患者さんに寄り添うことを大切にしながら、日々支援をしています。

また、抗がん剤治療の方へボランティアの手作り帽子を差し上げています。実際に利用された方からは「手作りの暖かみがあった」「完成度が高く重宝した」等の感想をいただき、大変喜ばれています。

がん患者サロンの季節に一回開催しており、院内外の患者さんが参加されています。お困りの事がありましたら、ご相談ください。



こころ躍る
毎日を。

2/21 ㊦は決算棚卸しのため臨時休業いたします。2/27 ㊦・28 ㊦は割引祭を開催します!

毎週火曜日は火曜特売!!

毎週日曜日は UCSカード ユニコカード お支払で ポイント2倍デー!!

毎月19・20・29日は UCSカード または ユニコカード での
お支払いで、さらに **5%OFF!!**

※食料品売場(日用品・ペット用品含む)・A to Z化粧品コーナー・カウンセリング化粧品コーナー・ゲーム機本体及び専門店は除外となります。
※当日、UCSカードまたはユニコカード入会のお客様も5%OFFが受けられます。

アピタ新潟西店 電話 **025-201-1711** 新潟市西区小新5丁目7番21号



大町調剤薬局グループ
保険調剤



950-1104 新潟市西区寺地453-2(おくすりタウン内)
TEL:025-234-3066/FAX:025-234-3067
営業時間:AM9:00~PM5:30 定休日:土曜・日曜・祝祭日



共創未来 寺地薬局

【営業時間】

- ・09:00 ~ 18:30 (月・火・水・木・金)
- ・08:30 ~ 12:30 (土)

【定休日】

- ・日曜、祝日

※済生会新潟第二病院正面玄関を出てすぐにございます。

【店舗変更のお知らせ】

全快堂薬局 寺地店→共創未来 寺地薬局



【在宅医療 薬剤師訪問】

薬に関する悩み・疑問の解決に加えて
点滴等の無菌製剤にも対応しております。

地域医療支援病院 臨床研修病院 災害拠点病院 赤ちゃんにやさしい病院

社会福祉法人 恩賜 済生会 **済生会新潟第二病院**

〒950-1104 新潟県新潟市西区寺地280-7 TEL.025-233-6161(代) FAX.025-233-8880

なでしこ
Cheers!

当院HPよりバックナンバーも
ご覧いただけます。

医療連携機関マップ
<http://saiseikaidani-renkei.jp>



病院ホームページ
<http://www.ngt.saiseikai.or.jp>



こちらも
注目



「済生会新潟第二病院」の **facebook** 好評稼働中!